

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

施策体系コード	3-2-3	事業名	ごみ減量アクションプログラム支援事業
担当	環境局環境事業部ごみ減量推進課 菊地 211-2928		
全体計画 (当初)			
事業内容	ごみ減量に向けた市民・事業者の自立的な実践活動の浸透と拡大を目指し、市民、事業者、行政(市)の三者で構成する「ごみ減量実践活動ネットワーク」を設置し、ごみ減量標語(キャッチコピー)とロゴデザインを制作するとともに、生ごみ減量、紙ごみ減量、容器包装の減量、リユースなどの実践プロジェクトを形成し、市のごみ減量に向けた諸施策とも緊密な連携を持たせ相乗効果を高めた運動とする。		<年度別の事業内容> ・16年度 「ごみ減量実践活動ネットワーク」の設立。ごみ減量標語(キャッチコピー)とイメージキャラクターを作成し、イベント等で普及啓発に活用。 ・17年度 「ごみ減量実践活動ネットワーク」による具体的な実践活動の取組。 ・18年度 「ごみ減量実践活動ネットワーク」の実践活動の拡充。
	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)
事業内容(量・場所・規模等)	<p>1 標語・ロゴの制作等PR事業 「スリムシティ」啓発広告事業 地下鉄構内、電照広告6か所 ごみ減量啓発ポスター事業 公共機関、スーパーマーケット等 4,000枚 イベントの実施 リンケージアップフェスティバル2004にて、エコッキング、チャレンジごみ分別、パネル展示、「スリムシティーさっぽろ」キャラクターの名前の投票等を実施</p> <p>2 「ごみ減量実践活動ネットワーク」の設立 設立準備会の開催 7回 設立 3月14日 (運営委員会開催)</p>		<p>市民、事業者、行政(市)の三者で構成する「ごみ減量実践活動ネットワーク」が、次の5つの分野について各プロジェクトを設置し、市のごみ減量に向けた諸施策とも緊密な連携を持って、ごみ減量実践活動を展開し、ごみ減量実践者の拡充に取り組む。</p> <p>1 生ごみ減量プロジェクト (1) 家庭内循環に対する支援事業 ・生ごみ堆肥化器材の提供・購入助成 ダンボール箱セット: 1,000セット、密閉式容器セット: 840セット ・生ごみ減量リサイクル講師の派遣: 34回・948名参加 (2) 生ごみ地域循環モデル支援事業: 10団体・309世帯</p> <p>2 紙ごみ減量プロジェクト (1) 地域住民管理型の資源回収ボックス(ecoボックス)の普及 (2) 紙パックの回収の促進 啓発ビデオと冊子を小学校63校・中学校78校へ送付 (3) 集団資源回収の促進(検索ソフトの導入)</p> <p>3 容器包装減量プロジェクト (1) マイバッグ実施モデル事業: 3地区・124世帯 (2) 店頭啓発(アンケート) ・コンサドーレ試合会場、札幌フードセンター: 各200名</p> <p>4 リユース実践プロジェクト 「リユース広場」の開催: 6~11月来場者3,684名 ・フリーマーケットの開催 ・修理家具販売: 907点提供 ・生ごみ堆肥化PR: ダンボール箱50セット・密閉式容器53セット ・資源回収: 古布682kg・紙パック186kg</p> <p>5 普及啓発プロジェクト (1) フォーラムの開催: 平成18年3月1日(水)・参加者150名 (2) ホームページ作成・機関紙発行(年4回)</p>
	事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)	
<p>市民、事業者、行政(市)の三者で構成する「ごみ減量実践活動ネットワーク」が、次の5つの分野について各プロジェクトを設置し、市のごみ減量に向けた諸施策とも緊密な連携を持って、ごみ減量実践活動を展開し、ごみ減量実践者の拡充に取り組む。</p> <p>1 生ごみ減量プロジェクト (1) 生ごみ堆肥化器材の提供及び購入助成 ・ダンボール箱(¥200): 1,000セット ・密閉式容器(¥500): 1,015セット ・コンボスター等: 266基 ・電動生ごみ処理機: 40基(市の160基と併せて200基の助成) (2) 地域で生ごみの堆肥化に取り組んでいる団体への助成: 12団体、165世帯 (3) 生ごみ減量リサイクル講師の派遣: 26回、39名派遣、1,050名参加 (4) 生ごみリーダー養成講座: 生ごみリーダー13名を認定 (5) 家庭用廃食油資源化促進事業: 拠点42箇所、5,054回収(推計1,190件)</p> <p>2 紙ごみ減量プロジェクト (1) エコボックス(地域住民管理型の資源回収ボックス)の設置: 3件 (2) 雑がみモニター調査: 20世帯、1ヶ月間 (3) 古紙回収拠点紹介チラシ(学生向け)配布: 1,500枚</p> <p>3 容器包装減量プロジェクト (1) 北海道エコバッグ&ふるしきキャンペーン2006: さっぽろスリムネット賞を提供</p> <p>4 リユース実践プロジェクト (1) リユース広場: 6回開催、3,268名来場 ・リサイクル家具展示即売: 820点提供 ・自転車抽選会: 151台 ・資源回収: 古布862kg、紙パック780kg ・生ごみ堆肥化セットの提供 ダンボール箱47セット、密閉式容器126セット ・フリーマーケット (2) サッポロカレッジリユースフェアを支援: 420名来場、家具等310点提供</p> <p>5 普及啓発プロジェクト (1) 買い物ゲーム出張講座: 18回、655名参加 (2) キャンペーンの実施 (3) さっぽろスリムネットフォーラムの開催: 105名参加 (4) ホームページ作成・機関紙発行(年4回)</p>		<p>市民・事業者・行政(札幌市)で構成する「ごみ減量実践活動ネットワーク」が設立されたことにより、市民・事業者のごみ減量に向けた主体的かつ具体的な活動を推進・支援できる体制が整備された。平成17年3月に14名でスタートした当ネットワークの会員数は、平成18年度末には189名、15団体に達し、平成18年度事業への参加者数は延べ9,367名に上っており、ごみ減量実践者は確実に増えている。当該ネットワークの活動をさらに充実させることで、ごみ減量実践者が拡大し、本市のごみ減量・リサイクルが推進される。</p> <p style="text-align: center;">課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の拡大(ごみ減量実践者の拡大) ・ごみ減量実践活動の充実 ・ごみ減量実践活動の拡大に向けた組織体制の整備 	
19年度以降の方向性・事業の予定			
<p>会員である市民・事業者の意見に基づき、市の諸政策と緊密な連携を持たせながら、各種ごみ減量事業を展開するとともに、広く市民・事業者へ当該ネットワークの活動へ参加を呼びかけ、ごみ減量実践者(会員)を拡大していく。</p> <p>また、本市が未着手である分野において、先駆的に、実験的な事業を実施し、その成果に基づいたごみ減量施策を市政に提案していく。札幌市は、これらの活動に参加するとともに、当該ネットワークの主体的かつ具体的な取組みをさらに推進・拡大していくための体制の整備に向けて、行政として支援していく。</p>			

